

令和5年度第3回郡山市スポーツ推進審議会 議事録

日 時	令和5年9月13日(水) 午後4時から午後5時30分まで
場 所	郡山市役所西庁舎5階 5-1-2会議室
出 席 者	委員(9名(11名中))※委員氏名五十音順 松村賢剛会長、齋藤道子委員、佐久間一晃委員、鈴木裕美子委員、 成澤辰也委員、西田創委員、増子恵美委員、山本裕子委員、若松伸司委員 郡山市及び事務局(6名) 文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長 柳沼貴世 スポーツ振興課 課長補佐 福本政之 課長補佐兼施設マネジメント係長 庭山春生 事業企画係長 麻生裕美 施設マネジメント係 主査 上野由紀恵、主査 小松美穂
公開・非公開	公開
傍 聴 者	なし
議 事	(1) 提言書(案)について(審議事項) (2) その他

(司会：スポーツ振興課 課長補佐 福本)

1 開会

事務局が、委員過半数出席により当審議会が成立することを報告して開会。

2 会長挨拶

今回の会議が面と向かって会う最後の会議になります。事前に送らせて頂きました提言書(案)について、いろいろな意見、修正案が出てきました。内容についての説明をし、意見というよりは、文言の確認をして頂き、提言書をまとめていきたいと思っております。一生懸命やりますので、ご協力を宜しくお願いいたします。

3 議事

(郡山市スポーツ推進審議会条例第5条に基づき、松村会長が議長として進行。)

■会議の公開・非公開

松村会長	本日は、「提言書(案)」について審議します。令和4年度第1回審議会で決定したとおり会議は公開とします。本日、傍聴人はおりますか。
事務局(庭山補佐)	傍聴人はおりません。

(1) 提言書(案)について(審議事項)

関係資料	【資料2】 提言書(案)に対する意見事前確認結果と修正案 【資料3】 提言書(案) 【資料4】 修正前 提言書(案) 【資料5・参考】 提言書骨子(案)
松村会長	事務局から説明をお願いします。
事務局 (庭山補佐)	配付資料の中で、【資料3】が、皆様から事前に頂いたご意見を反映した提言書(案)となっております。ご意見内容と修正案の説明につきましては、【資料2】に記載しており、こちらに沿って説明いたします。 提言書(案)に対する意見事前確認結果と修正案の説明 【資料2】 <ul style="list-style-type: none">・ 1番 目次とP.1 提言題名(サブタイトル(スローガン)) (上記は、資料2の項目番号、提言書(案)の該当ページ数・該当項目) 3つほど事務局案を挙げさせて頂きました。 「誰もがスポーツを楽しめる郡山に！」 「誰ひとり取り残されないスポーツの街に！」 「スポーツSDGs×郡山市」です。 後ほど皆様に、これというものを選んでいただければと思います。・ 2番 P.1 現状と課題 1.スポーツを取り巻く環境の変化 2段落目 「…共生社会へ向けた取組が様々な形で進展しているところである。」という文章の「進展」を「発展」に修正してはどうかというご意見を頂きましたが、ここでは、「新たな展開(変化)が起こっている」という意味をもって、「進展」のままという形にしております。・ 3番 P.1 現状と課題 2.郡山市のスポーツ振興について 2段落目 「子どもたち」という表記を「子ども達」に統一してはどうかというご意見で、ご意見のとおり修正しました。・ 4番 P.1 現状と課題 2.郡山市のスポーツ振興について 2段落目 「学術・トップスポーツ団体との連携協定やICTを積極的に活用し、…」という文章の中の「ICT」はどこに入るのか、というご意見でしたが、ここでいう「ICT」の内容がどのようなものなのかというご意見と解釈しまして、修正案のとおり「ICTを活用した部活動支援」という表現に変えさせて頂きました。・ 5番 P.2 現状と課題 (表1) 出典について、まちづくりネットモニター調査結果の年度をきちんと記載したほうがよいというご意見で、こちらは、2020,2021,2022年度のアンケート調査結果をもとに作成した表ですので、そのように年度を追加しました。

・ 6番 P.2 現状と課題 (表1)

この調査結果が、国のものなのか、県なのか市なのか、わかりづらいというご意見で、これは市民を対象に行った調査結果ですので、「スポーツ実施率」の後ろに「郡山市」を追加する案といたしました。

・ 7番 P.3 提言I リード文

「…スポーツ実施率を向上させるために、日々の生活の中で一人ひとりがスポーツの価値を享受できるよう…」という文がありますが、「スポーツ実施率を向上させるため」が目的ではないのではないかと、というご意見がありまして、ご意見のとおり、その部分を削除の上、そこに繋がる文言を「…生活に繋がるものであることから、…」と修正しております。

・ 8番 P.3 提言I (1) (表3)

「1年間に行った運動・スポーツ」の調査結果の項目の「障がい者スポーツ(ポッチャ等)」という表記について、「パラスポーツ」に変えたほうがよいのではというご意見です。こちらは、調査をした時の表記が「障がい者スポーツ」であったため、このままとしております。

・ 9番 P.3 提言I (1) 1項目め

「子どもから高齢者までの様々な世代ごとのライフスタイル…」というところに「障がいの有無に関係なく、多様な主体が」という文言を追加してはどうかということと、「…eスポーツなどの多様化するニーズ…」というところを「eスポーツなどの実施者のニーズ」という表現に変えてはどうかというご意見です。こちらは、ご意見を踏まえて修正しております。

・ 10番 P.3 提言I (1) 2項目め

「市のスポーツ施設において、可能な限りユニバーサルデザイン化を行うこと」としてはりましたが、「可能な限り」を削除し、「ユニバーサルデザインの推進を行う」と変更してはどうかということで、ご意見のとおり修正しております。

・ 11番 P.3 提言I (1) 4項目め

「運動・スポーツの実施率向上に向け、運動の基本であり、最も実施率が高い「ウォーキング(表3)について、安全で歩きやすいコースの整備や、楽しみながら取り組める魅力的なイベント開催などにより、積極的に普及啓発を図ること」となっておりましたが、「コースの整備」のところを「歩道やウォーキングコース等、日常生活において気軽に取り組める環境の整備を行うこと」としてはどうかというご意見でした。こちらは、ご意見を踏まえて「安全で歩きやすい歩道やウォーキングコース等、日常生活において気軽に取り組みやすくするとともに、取組みを後押しするイベント等の工夫を図ること。」という修正案としております。

・12番 P.3 提言Ⅰ（１） 6項目め

「…健康な誰もが参加できる、郡山シティーマラソン大会を「する・みる・ささえる」全ての人が楽しめる仕掛けづくりをし、…」となっておりますが、「健康な」を削除し、「郡山シティーマラソンを魅力的なイベントとし、…」に修正するというご意見で、ご意見のとおり修正しております。

・13番 P.3 提言Ⅰ（１） 7項目め

「施策の実施にあたっては、ICTを積極的に活用すること。」としておりますが、このICTはどんなことをするのかというご意見です。このご意見を踏まえまして、「施策の実施にあたっては、情報発信だけでなく、デジタル技術の有効活用を考え、ICTを積極的に活用すること。」ということで修正しております。

・14番 P.4 提言Ⅰ（２） 2項目め

「共に」という表記を、ひらがなの「ともに」に統一してはどうかというご意見で、ご意見のとおり、ひらがなで統一いたしました。

・15番 P.4 提言（１）（２）

「提言Ⅱ 誰もが参画できるパラスポーツの普及・振興」の中項目である、（１）パラスポーツ普及活動の強化、（２）障がい者のスポーツ参画機会の充実を、「提言Ⅰ 多様な主体が参画できるスポーツの機会創出と情報発信」へ移動し、提言Ⅱは削除するというご意見でした。パラスポーツの普及・振興については、多様な主体のスポーツ参画促進のために、市として重点的に進めていく意図があるので、提言Ⅱは、現状のままの構成としております。

・16番 P.4 提言Ⅱ（１） 1項目め

「…気軽に楽しめる体験の機会を創出すること。」という表現ですが、「機会」を「場」に修正してはどうかというご意見で、ご意見のとおり修正しております。

・17番 P.4 提言Ⅱ（２） 1項目め

「各種スポーツイベントに障がい者が参加しやすい部門を設定し、…」という表現がございましたが、そこを「参加しやすいように設定し、…」に修正してはどうかというご意見です。ご意見を踏まえて、「障がい者が参加しやすい環境を整え、…」という形に修正しております。

・18番 P.4 提言Ⅱ（２） 2項目め

「ユニファイドスポーツ」とは、知的障がいのある人と知的障がいのない人が混合チームを作り、練習や試合を行い、スポーツを通じてお互いに相手の個性を理解し合い支え合う関係を築いていく取組ですが、あくまでスペシャルオリンピックス独自の取組になるので提言書においては、違う表現がよいのではないかとということで、「障がい者と健常者がともにスポーツができるイベントを企画し…」と修正するご意見です。この

後に説明いたします 19 番のご意見を踏まえて、修正案を作成しましたので、そちらでまたご説明いたします。

・19 番 (18 番と同じく P.4 提言Ⅱ(2) 2 項目め)

「障がい者と健常者の交流の場が少ないことから…」という表現がありますが、多様性を強調し、インクルーシブを目指しているので、障がい者と健常者の交流表現は違和感があるというご意見です。こちらは、先ほどの 18 番のご意見も踏まえて、「障がい者関係団体と連携し、障がいの有無に関わらず、誰もがともに取り組めるスポーツイベントを企画し、障がいの有無を超えた交流の機会を創出すること。」という形の修正案といたしました。

・20 番 P.4 提言Ⅲ(1) 1・2 項目め

提言Ⅲの(1)の2文は、内容が被っているように感じるので、「活動の機会の創出」とその「広報」に分けて、次のとおり修正してはいかがかというご意見です。

【修正案】

- ・プロスポーツの試合や各種スポーツイベントを主催する関係団体と連携し、「ささえるスポーツ(スポーツボランティア)」活動の機会創出に努めること。
- ・「ささえるスポーツ(スポーツボランティア)」の情報や魅力を、広報誌や SNS 等多種の媒体を通じて子どもからシニアまで幅広い世代に届け、スポーツボランティア文化の醸成を目指すこと。

原文の2項目めにつきましては、委員様から、子ども達がスポーツに興味を持ち、ともに楽しみながらボランティアができる仕組みがあったらよいというご意見を頂いており、プロスポーツ等イベントの機会を活用して子ども達に「ささえる」スポーツの機会を提供するという提案を意図したものであることから、ご提案頂いた修正案1項目めの「…ささえるスポーツ(スポーツボランティア)」の機会創出に努めること。」という文言の前に「子どもから高齢者まで」という文言を追加させて頂いた上、ご意見を踏まえた修正案といたしました。

・21 番 P.5 提言Ⅲ(2) 2 項目め

「…障がい者をサポートできるボランティアの育成に努めること。」という文を「…障がい者をサポートできるパラスポーツ指導員や、ボランティアの育成に努めること。」に修正してはどうかというご意見です。ご意見のとおり修正しております。

・22 番 P.5 提言Ⅳ リード文

「持続可能なスポーツ振興を進めるにあたって、未来を担う子どもたちのスポーツへの関心を高めるとともに、スポーツによる地域活性化は重要な課題である。…」という表現がございましたが、その間に「成長段階に合わせてスポーツ指導」という文言を追加してはどうかというご意見です。ご意見を踏まえて、「持続可能なスポーツ振興を進めるにあたって、未来を担う子ども達の成長段階に合わせたスポーツ指導をし、関心を高めるとともに、スポーツによる地域活性化は重要な課題である。…」という形に修正

	<p>しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・23番 P.5 提言Ⅳ（１） 項目追加 提案Ⅳ（１）の項目として、「障がい児のスポーツ環境の充実を図る」という項目を追加してはどうかというご意見がございました。こちらは、ご意見を踏まえまして、「学校等との連携により、障がい者のスポーツ環境の整備に努めること。」という形で追加する案としております。 ・24番 P.5 提言Ⅳ（２） 1項目め 「地区体育協会や地域公民館等と連携し、地域住民が気軽に集い、交流を深めスポーツを楽しむ大会やイベント等機会の創出ができるよう、地域の実情に応じた活動支援を積極的に行うこと。」という表現の「大会やイベント等」を「機会」という言葉に変更してはどうかというご意見です。ご意見のとおり修正しております。 ・25番 P.5 提言Ⅳ 項目追加 提言Ⅳの中項目として、「（４）健全なスポーツ推進」という内容を追加し、ハラスメント防止について、また、スポーツ事故（熱中症）、地球環境の変化に伴い、安全に配慮したスポーツ推進について、記載してはどうかというご意見です。ご意見を踏まえて、次のとおり追加する案といたしました。 <ul style="list-style-type: none"> （４）安心してスポーツができる環境整備 ・スポーツ関係者のコンプライアンス違反や体罰、暴力等の根絶を目指すこと。 ・スポーツ活動中のけが・事故を未然に防ぐための安全管理について、啓蒙を図ること。 <p>委員の皆様から頂いたご意見に対する修正については、以上でございます。</p> <p>その他の修正点について</p> <p>それ以外の部分に関しまして、提言書（案）の中に、委員名簿が入っておりますが、当初は「氏名、所属組織、役職等」という項目で記載しておりましたが、所属組織が途中で変わられて、ご推薦時の所属団体に今は属していない委員様がおられまして、所属組織という欄があると空白になってしまうという状況がありましたので、所属・役職等という形で一緒にさせて頂きました。こちらの記載を変えたことによって、これでは困るということがございましたら、後ほど事務局にお申し出いただければと思います。</p> <p>変更点の説明は、以上となります。</p>
松村会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>最初に説明のありました、【資料2】の1番のところですが、サブタイトルでスローガンが3つ程、案があがっております。前回の会議のときにも、提言書の前に、目立つ言葉があったほうがよいのではないかというご意見が出ましたが、先ほど、事務局から</p>

増子委員	<p>この3つの中でどれか1つに絞って提言書の中にスローガンとして載せたいということで提案がありましたので、皆様のご意見をお願いしたいと思います。</p> <p>(1 「誰もがスポーツを楽しめる郡山に！」)</p> <p>(2 「誰ひとり取り残されないスポーツの街に！」)</p> <p>(3 「スポーツSDGs×郡山市」)</p> <p>障がい者スポーツ協会の増子です。まず、この3つを拝見して、一番郡山市にじっくり来るものは何だろうと考えて、個人的にじっくりきたのは「スポーツSDGs×郡山市」だと思いました。「誰もがスポーツを楽しめる郡山に！」となると、揚げ足を取るのではないですけど、スポーツが嫌いだという人は必ずいますし。スポーツ庁の調査の中の「スポーツを推進しましょう」といった中で、中学生の特に女子の意見に「誰もがスポーツをしなければいけないのか」「選択の自由があってほしい」というものがありました。「やるより見る方が好き」とか、そういった意見もあったので。「誰もがスポーツを楽しめる」となると、またちょっと違和感を覚えることになるのかなと。そして「誰ひとり取り残されないスポーツの街に！」となると、取り残されている人がいるかのように感じてしまいますし、そのイメージとしては、障がい者や高齢者というようなスポーツのマイノリティのところ、あまり参画としては進んでいないというイメージを持たれるということもあるので。郡山市の取組としては、スポーツSDGsというのがじっくりくるかなと思いました。</p>
松村会長	<p>その他ございませんか。</p>
佐久間委員	<p>市中体連の会長をしております佐久間と申します。サブタイトルのことですが、この提言書(案)1ページの2番のところに、郡山市のスポーツ振興について書いてありまして、「郡山市においてもSDGsの理念の下…」という書き出しで始まっています。また、学校の現場でも市教育委員会からの指示を受けまして、学校の教育活動においてもSDGsの17の目標に従って計画を立てて行っています。また一番大事なものは、3行目にある「スポーツを通じた共生社会の実現」というのが、この提言書の中にいろいろ盛り込まれています。あと、わかりやすいタイトルとなると、やっぱり3番目「スポーツSDGs×郡山」が一番覚えやすいし、わかりやすいし、インパクトがあるのかなと。そのインパクトとSDGs理念の共生社会の実現というところで、こちらがよいと思いました。</p>
松村会長	<p>ありがとうございました。その他のご意見はありますか。</p>
鈴木委員	<p>私は1番目の「誰もがスポーツを楽しめる郡山に！」は、説明なしに分かりやすいスローガンだと思います。スポーツをしたくない人まで巻き込んでというのは、そういう心配もあるかもしれないですが、積極的に参加したくないという人まで、無理にいらっしゃいよというのは、暗にそういうことは言っていないというふうに、文言の裏に含めているように取っていただければと思います。わかりやすいということで、一番よいの</p>

	<p>ではないかと思います。2番目は否定的な言葉はスローガンに入れない方がよいと思うので、「取り残されない」は何となく暗いイメージというか、後ろをついていくような雰囲気があるので、前向きな言葉にするには、しっかり来ないなと思いました。3番目の「SDGs」は、非常に時代的にはいい言葉なのですが、ただ、スポーツのSDGsとは具体的にどういうことなのかという説明が必要になると思います。スローガンとしては看板にしやすい言葉ではありますが、今流行りの言葉だからやっていると思われるので、ちょっと難しいと思います。だから私は1番目がわかりやすくいいと思います。</p>
松村会長	<p>その他、いかがでしょうか。</p>
齋藤委員	<p>私も1番目の「誰もがスポーツを楽しめる郡山に！」がいいと思います。鈴木先生がおっしゃった通りですが、3番目の「SDGs…」については、私は高校で地理の社会科の教員もやっております、SDGsは今とても流行りなんですね。地理の教科書に何十ページにSDGsと書いてあるのかというくらいにSDGsの言葉が出てきます。ただ、ご年配の方は、このサステナブル・ディベロップメント・ゴールズという意味は、簡単にわかるのかな？ということと、教科書に載るほど流行ってるということは、もうトップなので、落ちるばかりみたいな感じもあって、これが何年にもわたる提言であれば、やはり1番目のシンプルかつ優しい感じがいいのかなという気がします。</p>
松村会長	<p>ありがとうございました。その他、いかがですか。</p>
西田委員	<p>スローガンは、この3つから選ぶということでしたか。</p>
事務局(庭山補佐)	<p>ご意見があれば、お願いします。</p>
西田委員	<p>提言書なので、もう少し、こうしていきたいみたいなことが込められてもいいのかなというところで、1番目はすごくメッセージ性もあるのかなと思いました。例えばですが「郡山市を音楽とスポーツの街に」だったりとか「郡山市をスポーツ推進都市へ」だとか、郡山をどうしていきたいという方向性のメッセージが提言としてあってもいいのかなと感じました。</p>
松村会長	<p>ありがとうございます。その他いかがですか。</p>
山本委員	<p>最初に見たときに「誰もがスポーツを楽しめる郡山に！」など、なんとなく固い言葉だと感じました。でも提言書なので、こういう表現なのかなと思ったのですが。ただ、気になったのは、「誰もが」というところで、「誰も」ではなく「みんな」という優しい言葉の方がよいのかなと思いました。じゃあ新たにスローガンを、と思った時に、案が出てくるわけではなかったので、皆さんのご意見をお聞きしたく、提言書のスローガンについては検討という意見を書かせて頂きました。もう少し優しい言葉があった方が</p>

<p>若松委員</p>	<p>よいのかなと思ったところでした。</p> <p>障がい者スポーツ指導者協議会の若松です。今回、パラスポーツ、障がい者という部分を前面に出して頂いている提言になりますので。私としては、SDGsという言葉は、環境問題のようなイメージが非常に強いのですが、本来の意味は、差別とか困窮というところに目を向けるっていうところに、重きを置く内容だと思っておりますので、それをスポーツの中でということで、今回の内容に関してみると、私としては、スポーツSDGsという言葉自体が、新しいようですが、すごくピタッとくるような。なおかつそれを郡山市としてというイメージがあって。私も教職に立っている人間なので、SDGsの理念がスポーツにまでくるのかと、逆に子ども達にもイメージが持ちやすいのではないかなと思いました。</p>
<p>成澤委員</p>	<p>多数決みたいな感じになってはいますが。私も、鈴木先生がおっしゃった話と一緒にと思いますが、SDGsはやはりインパクトはあるものの、じゃあスポーツSDGsって何なのかな？と、ちょっとぼやけるような気がして。それよりは一番わかりやすい「誰もがスポーツを楽しめる郡山」というのがよいのではないかなと思います。さらに、山本さんがおっしゃったように、「みんな」がスポーツを楽しめるとかっていう話が何となくしっくりくるかなと聞いておりました。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>私も、「誰もが」よりは「みんなが」のほうが良いと思います。スポーツSDGsはインパクトが強いので、これも良いと思いますけど。論文が書けるくらい内容がありすぎるので、簡潔に、具体的にこういうことを目指しているんだということを、説明文をつけて頂きたいと思います。</p>
<p>松村会長</p>	<p>この3つから、ということでスタートしたわけですが、こうやって見た時に、やっぱり2番目の「取り残されない」という言葉はちょっとマイナスの言葉でふさわしくないなと思いました。それから、単純にSDGsと言った時に、子ども達とか若い人たちは、非常にこういうものに反応するんですけど、私たちの年代になってくるとイメージがパッと湧いてこない、ということで、「誰もがスポーツを楽しめる郡山に！」がよいかなと直感的に思いました。そして、もう一つ、「楽しむ」よりも「楽しめる」のほうが意味が広いという感じで、私はこの中だったら1番がよいかなと思いました。</p>
<p>松村会長</p>	<p>さて、1番と3番に固定するわけではないですが、ちょっと意見が分かれてしまいました。ある程度やっぱり納得づくでいった方がいいと思いますので、もう少しいろいろな意見を聞いた後に、決めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>増子委員</p>	<p>この中から選ぶという話ですが、私が出した意見が、資料に書いていないようです。公募というわけでもないですが、学校の総合学習等の授業で柔軟なアイデアを持つ子ども達に考えていただくという方法もあるかと、1位にはあさか舞(米)と書いたのですが。この3つの中からは選ぶのは難しいなと思いました。役所的な感じで。</p>

	<p>その上でこの中からとなった場合、私が「スポーツSDGs」がいいと思ったのは、佐久間先生がおっしゃったように提言に書いてあるというのが理由の一つです。</p> <p>あともう一つ、スポーツSDGsはそんなに新しいものではなくて、提言からすでに7年程進んでいて、ようやく世の中に浸透してきて、2030年ぐらいを目標にという話だったと思います。2023年なので、途中経過を含めると目標も変わっていくと思うので。私は、変わらず、共生社会とかそういった意味を込めて、スポーツの持続可能などというところが気に入っている政策なので、いいと思うのですが。「誰もが」となると、データに基づいていて、2ページ目を見ると、本当にスポーツやっているんですか？ということになるので。ここで「誰もが」を入れるとピンとこない人が多いのではと感じたので、この3つにとらわれず、もう少し柔軟な案をいくつかいただけたらなと思います。それこそ「みんながスポーツを楽しめる郡山に！」の意見を踏まえて、いくつかいただけたらなと思いました。</p>
事務局(柳沼次長)	<p>皆様から、いろいろなご意見を頂きありがとうございます。スローガンの案を3つ出させて頂きましたが、この他にも皆さんから意見が出るかなと、ちょっと期待したりもしていたんですけども。ちょっと今考えましたのは、先ほど言ったように、上の「みんながスポーツを楽しめる街へ」にして、下に線を引いて、「スポーツSDGs×郡山市」みたいに2つ合わせてできないかなと思ったのですが、どうでしょうか。</p>
若松委員	<p>郡山市と言われた時に、僕は、一番イメージにあるのは「楽都郡山」という言葉でして、そして、郡山市のホームページを見たら、「郡山市」のロゴの上に、「SDGs未来都市」という言葉が書いてあって。何かそれと「SDGsスポーツ都市」とか、郡山とは入れなくても、そういう言葉でもいいのかなと。思い付きで言っているのですが、何か短い言葉でもいいのかなと思って。「みんながスポーツを楽しめる郡山に！」っていうのももちろんですし、並列するのであれば、SDGsという言葉の部分に関しては、郡山市のほうでも「SDGs未来都市」という言葉を使っているのであれば、並列する「SDGsスポーツ都市」とかだけでも、それを前面に出していただけたらいいのかなと思います。</p>
松村会長	<p>それぞれの思いがあるわけですけど、いかがでしょうか。</p> <p>1番目と3番目のSDGsの言葉を合わせて、それから「誰もが」を「みんなが」にしたりして、改めて事務局で作成していただくということでもよろしいですか。</p> <p>ここで字面を拾ってまとめるというのは、ちょっと難しい感じがしますが。</p>
事務局(柳沼次長)	<p>今頂いたご意見をまとめまして、見直すというか、皆さんにもう一回聞いた方がよろしいでしょうか。</p>
松村会長	<p>最終的に提言をまとめた時に、こういうふうにまとめましたという案を作って委員の皆さんに送付して、何かあればまた聞くという形で進めるのはいかがですか？</p>

	(異議なし。)
松村会長	よろしいですか。では、このサブタイトルのところは、そのように進めていきたいと思えます。
松村会長	それでは、【資料2】の2番以降の項目について、何かご意見を出した人、あるいは、先ほどの説明を受けて、文言の修正等ご意見がありましたら、どの方向からでも結構です。よろしくお願いします。
齋藤委員	提言書(案)3ページの(1)の4つ目の「運動・スポーツの実施率向上に向けて…」というところで、「コースの整備や、楽しみながら取り組める魅力的なイベント開催などにより積極的に普及・啓発を図ること。」という言葉が削除されていて、「日常生活において気軽に取り組める環境の整備」という文言に変わっているんですが、以前の会議で話し合ったことで、確か、ファイヤーボンズさんの取組として、例えば、郡山駅から体育館までの長い距離を歩いていくと、ポイントになるとか、そういう話がすごく魅力的に聞こえたので、この言葉を削除しちゃうのがちょっともったいないんじゃないかなという感じがしました。
松村会長	ありがとうございました。【資料2】の11番のところですね。
齋藤委員	そうですね。
松村会長	前回の会議の時にも出ましたけれど、駅から体育館まで歩いて来るときに、その途中で距離とか、あと何歩だとか、消費カロリーがどの程度だとかが表示されるようにするとか。そういう意味で、具体的なものが出てきたかと思いますが、それがカットされてしまったのが、もったいないのでは、ということですけど。
増子委員	こちらに関しては、提言書になるので、コースの整備という具体的な話を提言書に盛り込むと、コースの整備とは何なのか、楽しめる魅力的なイベントって、すごくお金がかかるイメージがあるので、膨大なお金がかかるイメージを持つような表現を削除したほうが良いのではと思いました。
松村会長	いかがでしょうか。
齋藤委員	イベントという言葉が結果的にも入っていますが、楽しみながら取り組めるというような、ここで出た中で言えば、ゲーム的なものをやるということが、残っていたほうがいいのではないかなと思います。
松村会長	では、事務局。

事務局(庭山補佐)	<p>それでは、今の御意見を踏まえまして、文章全体がダメというわけではないと思いますので、「楽しみながら取組める」という表現をここに追加させていただくという形ではいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし。)</p>
事務局(庭山補佐)	では、そのように修正をさせていただきます。
松村会長	ありがとうございました。「楽しみながら取組める」という表現を追加していくことにしたいと思います。その他、どうでしょうか。
鈴木委員	3点あります。形式的なことですが、さっき「共に」というところをひらがなにすることを確認しましたが、(資料2)2ページにも、2か所漢字で書いてあります。
事務局(庭山補佐)	修正漏れだと思いますので、修正させていただきます。
鈴木委員	<p>それから、「取組」と「取組み」とで表記が混在していますので、統一したほうがよいと思います。</p> <p>それと、(資料2の)3ページの22番に、「成長段階」という言葉が書いてあるのですが、日本語としてはいいと思いますが、幼児教育の教科書等では、ほとんど「発達」という言葉で表記しているのです。ちょっと検討して頂きたいなと思います。「成長段階」イコール「発達」で、「3つの“た”」と言って、「多様な」とか、発達の“た”とか、「サンタ」なんて言ってますが、“た”の言葉でキーワードになっていて、「発達」というのはすごく重要な言葉なので、ちょっと検討して頂きたいなと思います。</p>
事務局(庭山補佐)	<p>「ともに」のところと「取組」のところは、統一させていただきます。</p> <p>「成長段階」というところを「発達」のみにするというような？</p>
鈴木委員	例えば「楽しい」とか「多様な」動きとか、「発達」のキーワードに“た”がついているので、よく学生には「サンタ」と言っていますが、「成長段階」ではなく「発達」という表記を検討していただければ。「成長段階」のことが「発達」という言葉になる。
事務局(庭山補佐)	「発達」という言葉自体にそういう意味が含まれているということで、「段階」を取る形でよろしいですか。
鈴木委員	「段階」を含めて「発達」と一般的に使うんです。
事務局(庭山補佐)	承知いたしました。そのように修正させていただきます。ありがとうございます。
松村会長	その他、皆さんいかがでしょうか。

増子委員	<p>最初の修正前の時に、「多様な主体が」というところがあるので、障がい者スポーツのところを柱立てしなくてもいいのではないかという意見を出させて頂きました。その理由を述べさせて頂きます。スポーツ庁のスポーツ基本計画の第2期、第3期に関わらせて頂いた時に、第2期の時は東京パラリンピック前で、障がい者のスポーツ参加率が本当に低くて、これは意識して柱立てして盛り込んで行こうということで、我々関係者は声を大にして柱立てをお願いして、入れ込んで頂きました。そうしたら、インクルーシブとか、共生社会ということが、東京パラリンピック後に浸透してきた中で、今度は逆に、分けすぎてしまって、どうやって入れ込んでいくかということが課題になってしまったということがありました。分けすぎず、盛り込みつつ、かといって文言をゼロにすると、本当に忘れ去られてしまう程まだ弱い状況なので。そういう意味で、多様性の中に障がい者のスポーツを入れた方がいいのではないかということをご提案しました。中核市でスポーツを推進していく中で、私の中では、郡山市は、パラスポーツとか障がい者のスポーツというのは私が一番初めに始めたのが30数年前、郡山市で始めたので、決して遅れているイメージがないんですね。そういった中で、あえて柱立てをするというところが郡山市らしいのかな、どうだろうな、というふうに、疑問に思ったので、ちょっと皆さんに考えていただけたらなと思った次第です。</p>
松村会長	<p>ありがとうございました。その他ご質問とご意見いかがでしょうか。</p> <p>(質問、意見等なし。)</p>
松村会長	<p>よろしいでしょうか。修正が随分出てまいりましたが、修正したとおりで提言書を作るという形で進めてよろしいですか。あまり量が多くて、目が通せないというところもちょっとあるかと思いますが。</p> <p>それでは、本日までご発言頂きました、意見や提案については、事務局で整理して改めて提案書としてまとめ、私の確認を得た上で、委員の皆様へ書面を見て確認していただくこととし、また、文言の整理を含め、会長一任とさせて頂きたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし。)</p>
松村会長	<p>ありがとうございます。議題1の審議については、以上といたします。</p>

(2) その他

関係資料	【資料1】審議事項及びスケジュールについて
松村会長	<p>次に、議題2「その他」に移ります。委員の皆様から、その他で何かございますか。</p> <p>(質問、意見なし。)</p>
松村会長	事務局から何かございますか。

事務局(庭山補佐)	<p>【資料1】「審議事項及びスケジュールについて」、説明いたします。</p> <p>この審議会は、今回が全体を通じて第4回目で、今回が最後になります。本日、ご審議頂いた内容は、当然反映させて頂きませんが、サブタイトル(スローガン)のところだけ、皆様に再度お諮りをして決定した上で、原則として、会長とまとめさせて頂き、まとめたものについては皆様に再度お送りさせて頂きます。その後、時期はこれから日程調整してからになりますが、市長のほうに提言書を提出という形を考えさせて頂いております。よろしく願いいたします。こちらの説明は以上でございます。</p>
松村会長	<p>以上で、本日の議事は全て終了いたしました。議長の任を解かせて頂きます。ありがとうございました。</p>
事務局(福本補佐)	<p>ありがとうございます。それでは以上をもちまして、令和5年度第3回郡山市スポーツ推進審議会を終了いたします。お忙しい中、ご出席頂きまして、誠にありがとうございました。</p>